広報紙
KOBEシニアクラブ
令和6年
1月10日
（隔月10日発行）
No.704

一般社団法人　神戸市老人クラブ連合会　〒650-0016　神戸市中央区橘通3-4-1 TEL(078)341-8507　FAX(078)341-8524　krcr@sunny.ocn.ne.jp　http://kobeshirouren.or.jp/

尊厳ある生き方を目指して

神戸市老人クラブ連合会（KOBEシニアクラブ）
理事長　近藤 豊宣

新年明けましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

平素は神戸市老人クラブ連合会の諸事業推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、21世紀は「高齢者の世紀」と言われるように我が国の高齢化は急激に進んでいます。2025年には75歳以上の後期高齢者人口が2,180万人、65～74歳の前期高齢者人口が1,497万人に達すると予測されています。超高齢化社会の入り口まで一か年となりました。

このような状況を考えるとき、高齢者が互いに支え合い励まし合いながら楽しみを共にし、長寿の喜びを実感できる人間関係の醸成が極めて大切となります。

そのためには、地域社会の中で自己責任に基づく「自己力」を高め、地域社会の支え手・担い手として能力を生かし、老人としての役割を果たしていく「尊厳ある生き方」が求められます。

私たち老人クラブは超高齢化社会の主人公です。老人会が目指す「健康・友愛・奉仕」を基に、会員一人一人が、健康に留意し、地域の中心となって、支え合う仲間と、若い世代を巻き込んで、生きがいある環境づくりを、積極的に進めていく役割が重要です。

私たちの役割を考えたとき、組織の基盤強化が重要な課題となります。毎年「会員増強運動」を第一に取り組んでいますが、残念ながら、年々クラブ数や会員数の減少が続いています。その中でも、今年度特に、様々な広報やPRに努め、成果を上げているクラブもあります。「会員増強」は、正に組織力強化のための永遠の課題と言えます。

終わりに、皆様方のより一層のご協力とご支援をお願い申し上げるとともに、会員各位のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年に寄せて

神戸市長　久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

2023年は、新型コロナウイルスが感染症法上の2類から5類へ変更され、日常生活へ回帰する目途が立ちました。この危機を乗り越えられたのは、医療従事者のみなさんの献身的なご尽力をはじめ、多くの方々にご協力いただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

一方で、少子高齢化や東京一極集中などウイルス出現前からの課題は存在し続けており、人口減少時代における政策展開が求められます。

神戸市では、人口減少幅を抑制する取り組みとして、若年世代にとって魅力的なまちであり続けるよう、切れ目ない子育て支援をはじめ、スタートアップ施策や企業誘致といった魅力的な産業創出、郊外拠点駅周辺のリノベーションなどによる暮らしの質の向上、都心三宮・ウォーターフロント再整備など非日常のわくわくするような都市空間形成といった施策を強力に推進しています。

市民一人一人が幸せを実感できる、温かみのあるゆったりとしたまちづくりに取り組み、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向け、果敢に挑戦していきます。

本年5月17日には、東アジアで初めてとなる世界パラ陸上競技選手権大会が神戸で開催されます。障がいや多様性に対する理解が深まり、共生社会をつくっていくきっかけとなる大会にするため、取り組みを進めていきます。市民のみなさんにも、ボランティアや大会広報など広くご協力いただき、共に大会を盛り上げていただくようお願いします。

また、2025年には大阪・関西国際万博の開催や神戸空港の国際チャーター便運用が始まります。観光・ビジネス需要の創出を推進し、市内経済に波及させながら、国際都市神戸としての価値を一層高めていく取り組みを推進していきます。

現在神戸市では、市が目指すまちの将来像や方向を描く新たな総合基本計画の策定を進めています。是非みなさんからも神戸の未来についてご意見をいただき、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年がKOBEシニアクラブのみなさんにとって、すばらしい一年となりますことをお祈りいたします。

兵庫の新たなステージへ

兵庫県知事　齋藤元彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思います。

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。保育・子育てサービスの充実、不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者や障害のある方たちが安全安心に暮らせる〝共生社会〟を実現します。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、自転車死亡事故の減少につなげます。また、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができるユニバーサルツーリズムや、パラスポーツの普及に取り組みます。団塊世代のすべてが後期高齢者となる2025年を見据え、健康づくりや地域医療構想の推進にも注力します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドパビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

老人福祉法制定60周年記念　第52回全国老人クラブ大会

11月8日（水）・9日（木）、秋田県秋田市のあきた芸術劇場ミルハスにて第52回全国老人クラブ大会が開催されました。

神戸市老人クラブ連合会からは、近藤豊宣理事長をはじめ11名が参加しました。神戸市からは、右の通り1名、1団体が表彰されました。

【全国老人クラブ連合会会長表彰】
（順不同、敬称略）

育成功労者表彰
名田　章仁　（理事）

優良老人クラブ表彰
道親会（会長　松木　伸年）

式典の様子

編集・制作　株式会社ニチコミ　〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目4-8 タイムスビル10F　☎078-351-3387　http://www.nichicomi.com